

復 命 書

令和 7 年 1 月 28 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	前原 和幸
研修会名等	鹿児島県町村議会議長会議員研修
期 間	令和 7年 1月28日(火)
内 容	演題:「役所を動かす質問の仕方」 講師:地方議会研究会 総括コンサルタント 川本 達志 氏 1.質問の基礎基本 2.一般質問のテーマ選定の方法 3.提案型質問で成果を上げるために、準備は質問の構造を意識して行う 4.一般質問における「成果」とは何か 5.議員しかできない現場調査やデータの補強のポイント 6.主要テーマについてはとにかく学習しよう 7.議員に使ってほしい資料の紹介 8.職員との距離感～役所内に人脈をつくろう 9.答弁調整を効果的に 10.一般質問は提案を実現させるためのツールである 11.政策提案には必要な財源の確保策を掲げると説得力が増す 12.議員の理念及び地域の社会環境も大切 13.答弁に対する対応 14.過去のセミナーで答えてきた改善例 15.良い質問に必須の3条件 16.課題・責任追及型の質問の肝
所 感	一般質問の仕方を項目ごとに非常にわかりやすく丁寧に説明していただいた。また、質問のポイントとして19項目の重要な点を挙げていただいた。一般質問を3つのタイプに分け、その中の政策提案型について成果を上げるために、執行部側の視点に立った政策立案のプロセスなどを教えていただき、相手を知ることによって役所を動かす質問につながるなど、大変興味深く聞いた。また、議員本来の仕事といえる現場調査やデータ整理・補強など、本当に学ぶべきことが多いと痛感した。今回の学びを今後の質問に生かし、本町を少しでも行政と議員が共に望むあるべき姿に近づけなければと考えている。
添付資料	無し

復 命 書

令和 7 年 1 月 28 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	前原 和幸
研修会名等	鹿児島県町村議会議長会議員研修
期 間	令和 7年 1月28日(火)
内 容	演題:「緊迫する国際情勢と日本の針路」 講師:大阪大学特任教授 藪中 三十二 氏 リーダーなき分断された世界 1.トランプ大統領が誕生した経緯 2.これからトランプ大統領が行う事 3.トランプ大統領の人事 4.トランプ大統領の外交術 5.トランプ大統領の不法移民対策 6.トランプ大統領のいかにして2つの戦争を終わらせるか 7.対イラン政策 8.台湾有事について 9.米中関係について 10.日本の針路 11.日本と中国の関係
所 感	アメリカでトランプ大統領が4年のブランクを経て再び誕生した。アメリカファースト主義が国際社会に及ぼす影響は計り知れない。一人の地方議員としても、日本が目指す方向を注視する必要があると考える。国際情勢のの変化がわが町に何をもたらし、何を奪うのか想像も出来ない中において、本日の講演は、日本の針路、進むべき方向を1.日米同盟の関係を確固としたものにすることが抑止力となる。2.自国の防衛力を一定の整備・強化3.東アジアの平和を維持する外交努力以上3項目を推し進め、核なき世界を目指すことが重要とされた。共感できることも多く、これからの我が国の方向性を見守っていかねばと考える。
添付資料	無し

復 命 書

令和7年 2月 5日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	松元 健作
研修会名等	議員研修会
期 間	令和7年1月28日（火）
内 容	・「役所を動かす質問の仕方」 地方議員研究会 総括コンサルタント 川本達志 氏 ・「緊迫する国際情勢と日本の針路」 大阪大学特任教授 藪中三十二 氏
所 感	・一般質問の在り方や方法、考え、構成の仕方など詳細に解説されとてもわかり易く勉強になった。自分の考えている一般質問のあり方がそれほどズレておらず間違っていなかったことを確認できた。質問を通じて執行部と一緒に政策・施策を作っていく。質問だけでは成果が出ないため、執行部との議場外での調整・根回しが必要。議員にしかできない徹底した現場調査やより多くの町民の意見を集め、分類しまとめるなどを念頭にしっかりと一般質問ができるよう努力していく。 ・アメリカの大統領がトランプ氏へとなった。今までのアメリカは世界から見て第2次世界大戦後ヒーロー的な感じで、世界の警察官としての立場的存在であったが、アメリカ自信それがだんだんと薄れてきて世界を助ける前にまずは自分たちからという考えとなりアメリカファーストとトランプ氏は言っている。その手段として関税の引き上げである。これからトランプ氏が大統領となった今目まぐるしく世界情勢が変化していくのではないかと個人的には感じている。今の日本の総理大臣で果たして世界を渡っていくことはできるのか、戦争があちこちで勃発しないだろうか。日本は人口減少により先進国から貧困の国になるのではなど様々な不安はあるが、今ある現実をしっかりと見つめ、日々の暮らしに支障がないよう自分たちは自分たちのできることをしっかりと行っていくことが大切であると思う。今後も世界情勢に目を向けながら議員活動も行っていきたいと思う。
添付資料	

復 命 書

令和7年2月4日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	宮後 竜一
研修会名等	町村議会議員研修会
期 間	令和7年1月28日()~令和7年 月 日()
内 容	・後進を動かす質問の仕方 地方議員研究会 エキスパート(川本達志氏) ・緊迫する国際情勢と日本の斜路 大阪大学特任教授 (萩中三太郎氏)
所 感	・研修会の中で一般質問の準備をしっかりと行い、1回の質問で成果を挙げる。何回もおかけ質問を好むと勉強になった。(朝へき香田係長に聞く) ・後進のトランプ情勢の理解が、これからの日本の斜路にどうなるか、いかに、をより理解できた。
添付資料	

復 命 書

令和7年1月28日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	吉 原 光
研修会名等	町村議会議員研修会
期 間	令和7年1月28日(火)ー令和 年 月 日(ー)
内 容	① 「役所を動かす質問の仕方」 川本 達志氏 ・政策提案型の一般質問は、執行部との政策競争の場合である。 ・執行部の着目点は、現状とあるべき姿のギャップ＝問題点から課題へ認識 ・執行部と認識を共有することが成果につながる。共有させること。 ・既存の制度・事業を理解すること。担当係長と対話できる関係を作る。 ② 「緊迫する国際情勢と日本の針路」 教中 三十二氏 ・第2次世界大戦後、世界リーダーであったアメリカに対する各国 の関係性の変化、アメリカの変化に日本はどうか今後向きあうのか。 ・アメリカトランプ政権の外交、対中、対ロシア、対北朝鮮に 注視、日本はどうか合わせていくのか。
所 感	① あるべき姿のギャップを発見すること。それには、現場 調査、住民との対話、客観的データの調査と提示が必 要であり、その準備が大事。 一般質問は議員に向けて理解をしてもらうことが大事。 議員が理解しないのに執行部は動かない。 ② トランプ政権となっても日本におけるアメリカとの関 係は安全保障の基軸であり、どの国よりも重要な ものとする。はたして、石破日本が親密な関係性 パートナーになれるのかが大切なことと考える。
添付資料	

復 命 書

令和7年 / 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	山 田 美 奈
研修会名等	町村議会議員研修会
期 間	令和7年 / 月 28日(火) ~ 令和7年 月 日()
内 容	町村議会議員研修会 「講演」 「役所を動かす質問の仕方」 地方議員研究会 総括ユニカルタート 川本達志氏 「緊迫する国際情勢と日本の針路」 大阪大学特任教授 藪 中 三十二氏
所 感	「役所を動かす質問の仕方」 ○質問の基礎、基本を学んだの良かった。 ○質問の3つのタイプがあるが、(政策提案型、課題・責任追及型、自己主張型) 其中、一般質問のテーマ設定を行い、問題がある現状を紹介し、住民の声を届けることが重要であると思った。 ○執行部に調査させる質問をする。 ○答弁の中で「検討します」とあれば、検討を促すから(1)である可能性が - あるので、検討状況を把握して再度質問する事が大事であると感じた。 「緊迫する国際情勢と日本の針路」(湖断、新干線、国際情勢) ○ウクライナ戦争、迷った終戦への道 ○ロシア劇場、... 因縁の動き ○パリコレット、パナマ運河、尖閣諸島の動向 「日本の針路」 ・日本同盟関係の確固たる抑止力 ・防衛力の一定の整備、強化 ・東アジアの平和を維持する外交努力
添付資料	

復 命 書

令和7年1月31日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	田中 義家
研修会名等	町村議会議員研修会修会
期 間	令和7年1月28日
内 容	「役所を動かす質問の仕方」 講師 地方議員研究会統括コンサルタント 川本 達志 「緊迫する国際情勢と日本の針路」 講師 大阪大学特任教授 藪中 三十二
所 感	1 一般質問は主要テーマを決め追及すること、 住民との意見交換により実際の要望の事項などを見出すこと住民 との対話を深めていきたいと考えた。 2 アメリカの大統領にトランプ氏になり リーダーなき分断された世界、日本は何かあればアメリカへ 世界はアメリカ離れ今後アメリカとの関係はどうなるのか不安 でした。
添付書類	なし

復 命 書

令和 7 年 1 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	中 原 稔
研修会名	鹿児島県町村議会議長会
期 間	令和 7 年 1 月 28 日 (火)
内 容	1. 役所を動かす質問の仕方 地方議員研究会 総括コンサルタント 川本達志氏 2. 緊迫する国際情勢と日本の針路 大阪大学特任教授 藪中 三十二 氏
所 感	1 について 一般質問の仕方について要約した講演であった。自分自身の質問が お届けテーマに片寄りしていないか反省する必要がある。 2 について 米国に新しい大統領が誕生し、その政策に各国が混迷している。 日本の進むべき道は、抑止力・防衛力の整備、強化・外交努力 である。今後も注視していきたいと思う。
添付書類	

復 命 書

令和7年 8月 28日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	富永 洋一
研修会名等	町村議会研修
期 間	令和 7年 / 月 28日 () ~ 令和 年 月 日 ()
内 容	1. (役所と動かす質問の仕方) …… 川本達志 ① 質問の基礎 基本 ② 一般質問のテーマの選定 ③ 現場調査とテーマの補強のポイント 2. (緊迫する国際情勢と日本の針路) …… 数中三十一
所 感	① 役所と動かす質問の仕方 質問主旨の現状の把握の必要はと理解出来たが、地域的 な問題については「現場主義」が大事 課題として首長答 弁が実現していれば現実もある また現在においている問題 等について住民へ提供し住民の声として質問するのと 必要と感じた 肝付町においている政策的には人道的問題は 解決に向けて町議会全体で取り組んでいけるが今後の課題である ② 緊迫する国際情勢と日本の針路 トランプ外相による 緊迫する国際情勢の中で日本は外交的関 心はどう対応すべきか また貿易における国際収支の問題等多くの問題が起きている。 平和問題については 外交努力が必要
添付資料	現場主義 = 現場に赴き 住民の声と聞く 根本原因の究明

復 命 書

令和7年 / 月28日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	恒吉 智彦
研修会名等	町村議会議員研修会 (於HALLB)
期 間	令和7年 / 月28日(火) ~ 令和7年 月 日 ()
内 容	1. 「役所を動かす質問の仕方」 講師 地方議員研究会 川本達志氏 2. 「緊迫する国際情勢と日本の針路」 講師 大阪大学特任教授 教中三十二氏 ・リーダなき分断された世界 オバマ大統領の言葉 「とばや、アメリカは世界の警察官ではない！」
所 感	質問 政策提案型 ・提案した政策を執行部やネットワークに束せる。 ・ネット上で放つためにより綿密な準備として最良のパフォーマンスを求める。 ・一般質問は準備が全て。質問の構造を意識して十分な準備をすれば、答弁の欠陥が分かり、再質問による追及が可能になり成果に近づける。 ・現場調査、データの整理 ・多くの住民の意見を集め、分類し、まとめる。徹底した現場調査や聞き取りが、役所を動かす原動力となる。
添付資料	

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	水 村 實 馬
研修会名等	町村議会議員研修
期 間	令和 7 年 1 月 28 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
内 容	① 役所を動かす 質問の仕方 地方議会議員研修会 統括エディタ 川本達志氏 ② 緊迫する国際小売勢と日本の戦略 大阪大学特任教授 数中 三十二氏
所 感	① 役所を動かす 質問の仕方の講演については、かねてから政策提案型の質問に徹しており、改めて学習の意味で参考にしたい。 ② 数中三十二氏の講演で感じたことはアメリカニューヨークの名門大学 コーネル大学を卒業し外務省、韓国に初めインドネシア、そして多数の国の外交勤務の経験を経て 2008 年に外務事務次官を退官され、その後は国際小売勢と日本の戦略の講演を伺い、その政権のアメリカファーストの考え方は日本にとって今までと異なりにはいかぬのではないかと感じる。
添付資料	

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	益山 一郎
研修会名等	町村議会議長研修会
期 間	令和 7 年 1 月 28 日 (火) ~ 令和 7 年 2 月 1 日 ()
内 容	「役所と動かす管内の社会」 地域政策研究会 統括コソルタ 川本達志氏 「緊迫する国際情勢と日本の外路」 大阪大学、特任教授 藪中 三十二氏
所 感	一般管内のニーズを、理直にあり、市民の暮らし 等を、いかにつかむか！ 事前の情報収集、事後の追跡調査が、管内 再管内等の課題(チーム)のUPにつかえる事になる
添付資料	

復 命 書

令和7年2月3日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	田 村 辰 幸 治
研修会名等	町村議会議員研修会
期 間	令和7年1月28日()~令和7年 月 日()
内 容	「役所勤務が質問の仕方」 地方議員研究会 統計部サタ 川 本 達 志 氏
所 感	一般質問とは 自分から質問する質問が 住民の方々にどう活用されるか 内容が適切であるかである ※ 今後、同じ早退
添付資料	

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	柳 一夫
研修会名等	新井村議会議員研修会
期 間	令和 7 年 1 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
内 容	① 地方議員研究会、統括エミサムト 川本達志氏による 役所を動かす賢者の仕方 ② 大阪大学特任教授による 緊迫する国際情勢と日本の針路
所 感	執行部の考えを、さぐり、議員として、住民との多様な エミサムトを結ぶ。ほか、住民の生の声、本音を聞い て、ほか、おかしな住民との対話を求めて行かばいい、リハナリと 深く考え下。 日本の針路にあるは、世界の動きを説明 日本の立場、立位置算、話され、未来に向って 動きが、どうあるのか、心配をする 今後の我々の考え方も変えておかなければならぬ
添付資料	

復 命 書

令和 7年 1月 29日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏名	有留 智哉
研修会名等	町村議会議員研修会
期間	令和 7年 1月 28日
内容	「役所を動かす質問の仕方」 地方議員研修会 総括コンサルタント 川本 達志 氏 「緊迫する国際情勢と日本の針路」 大阪大学特任教授 藪中 三十二 氏
所感	法的権限のない「一般質問」で、議員が執行部を動かすためには、制度を精査し、現場を調べ、政策を提案すること。制度を知らなければ課題として残っているかは知り得ないし、何を改善すべきかわからない。現場の現状を執行部と共有する。そして、あるべき姿に共感させて、課題に取り組むべきと思わせることが必要である。と、今までの自分のしてきた質問を振り返ると、全てにおいて物足りなさを感じる。思いばかり述べて、共有し、共感させ理解させる質問ではなかった。今回の講演を聴き、また一般質問を行いたくなった。
付属資料	